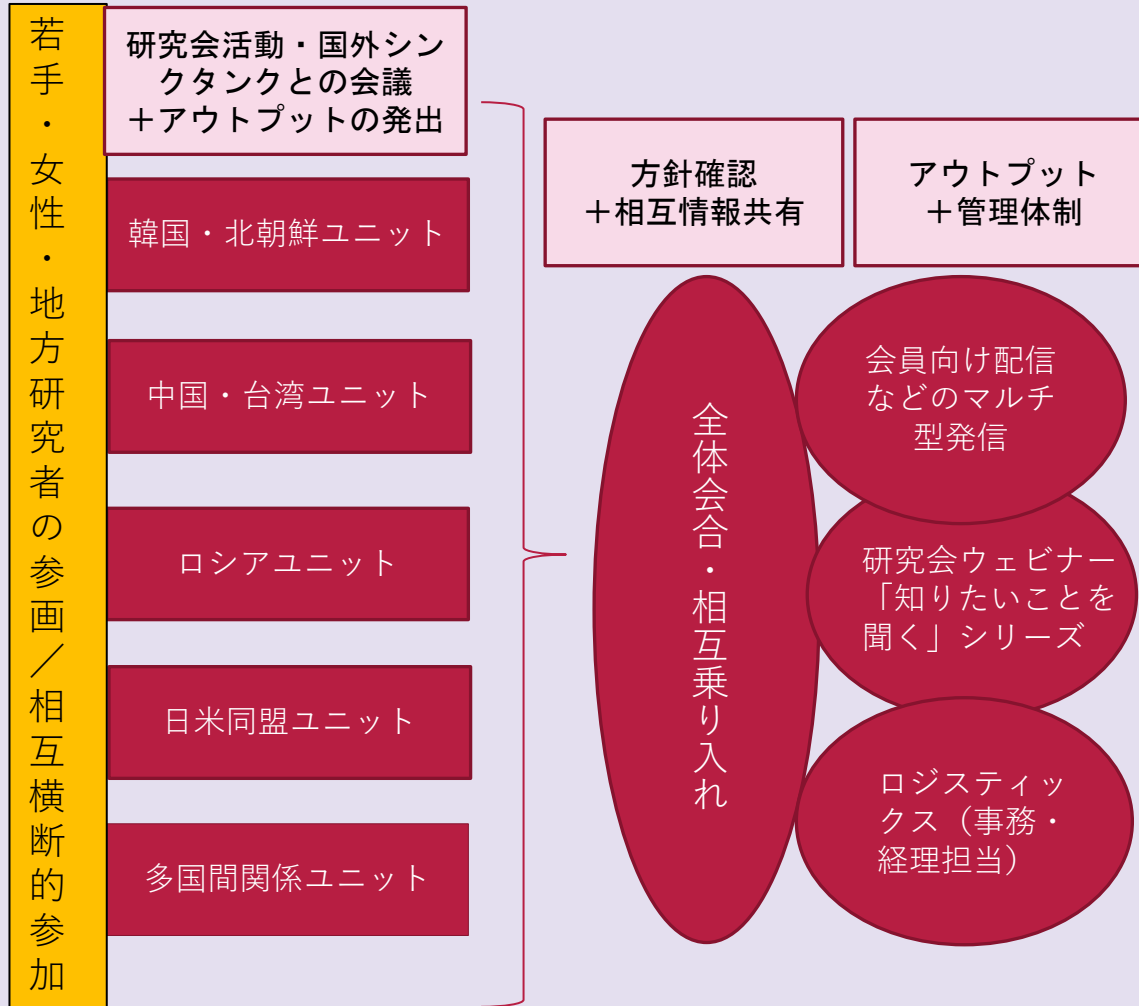


【総合事業】「東アジア国際問題の内在的考察：地域研究から見る朝鮮半島・台湾海峡問題」事業成果説明資料

1. 産官学の多様な研究メンバーからなる5ユニットによる新しい知見の導出



▲全体会合の開催などを通じて事業全体を貫く共通の趣旨・目的を徹底し、グループごとの協力、相乗りなども積極的に進めた。

▲重点的に取り組んでいる点：

①研究会主催の公開ウェビナー、「知りたいことを聞く」シリーズ（「知りたいこと」を投げかけて見解を聞くオンライン討論会）等の拡充、会員企業などを含めた国内向け発信強化、コメンタリー等による研究会の成果を日英両言語での発信

②若手・女性・地方在住者の一層の登用（ユニットリーダー、英文雑誌 *Asia Pacific Review*、論考HP掲載、海外調査支援）

③研究グループ相互の乗り入れ、交流の一層の推進（全メンバーが参加する全体会合の開催、研究会の開催通知を全ユニットに発出、各ユニットの発表資料や議事録を共通ファイルに格納（全メンバーがアクセス可））。

2. 基礎研究の充実と新たな知見の社会への発信・還元（「東アジア国際問題の内在的考察」）

研究会の立ち上げ

韓国・北朝鮮（西野純也）

中国-台湾
（江藤名保子、福田円）

ロシア（廣瀬陽子）

日米同盟（森聡）

多国間関係（細谷雄一）

新たな知見につながる視点

尹政権の下、日韓・日米韓協力を推進。日韓国交60周年を控え、韓国有識者との議論開始。北朝鮮は対日アプローチあるが基本姿勢に変化なし。

24年1月の台湾総統選挙も踏まえ、中国の台湾政策を分析し、また中国の経済安保政策の動向等も視野に入れる。

グローバル秩序における黒海地域と台湾海峡の比較研究を行う。黒海地域では、ナゴルノ・カラバフ問題をめぐりアルメニアのロシア離れ、ジョージアの経済活況とEU加盟への前進という新たな状況。

大統領選挙を見据えつつ、アメリカの政権及び議会における、朝鮮半島、台湾問題、インド太平洋地域の諸問題などアジア政策論議の動向を分析する。

海洋国際法をめぐる紛争、国際保健衛生をめぐる地域協力、G7やG20などを通じた国際協力などをテーマとして取りあげる。

社会/対外発信（含若手・女性研究者）・ 外交当局との意思疎通

- (若手・女性)富樫あゆみ「岐路に立つ韓国外交安全保障政策：「国家安全保障戦略」にみる尹錫悦政権の価値観外交」（8月21日）
- (若手)梅田皓士「尹大統領のリーダーシップと第22代国会議員選挙」（10月5日）

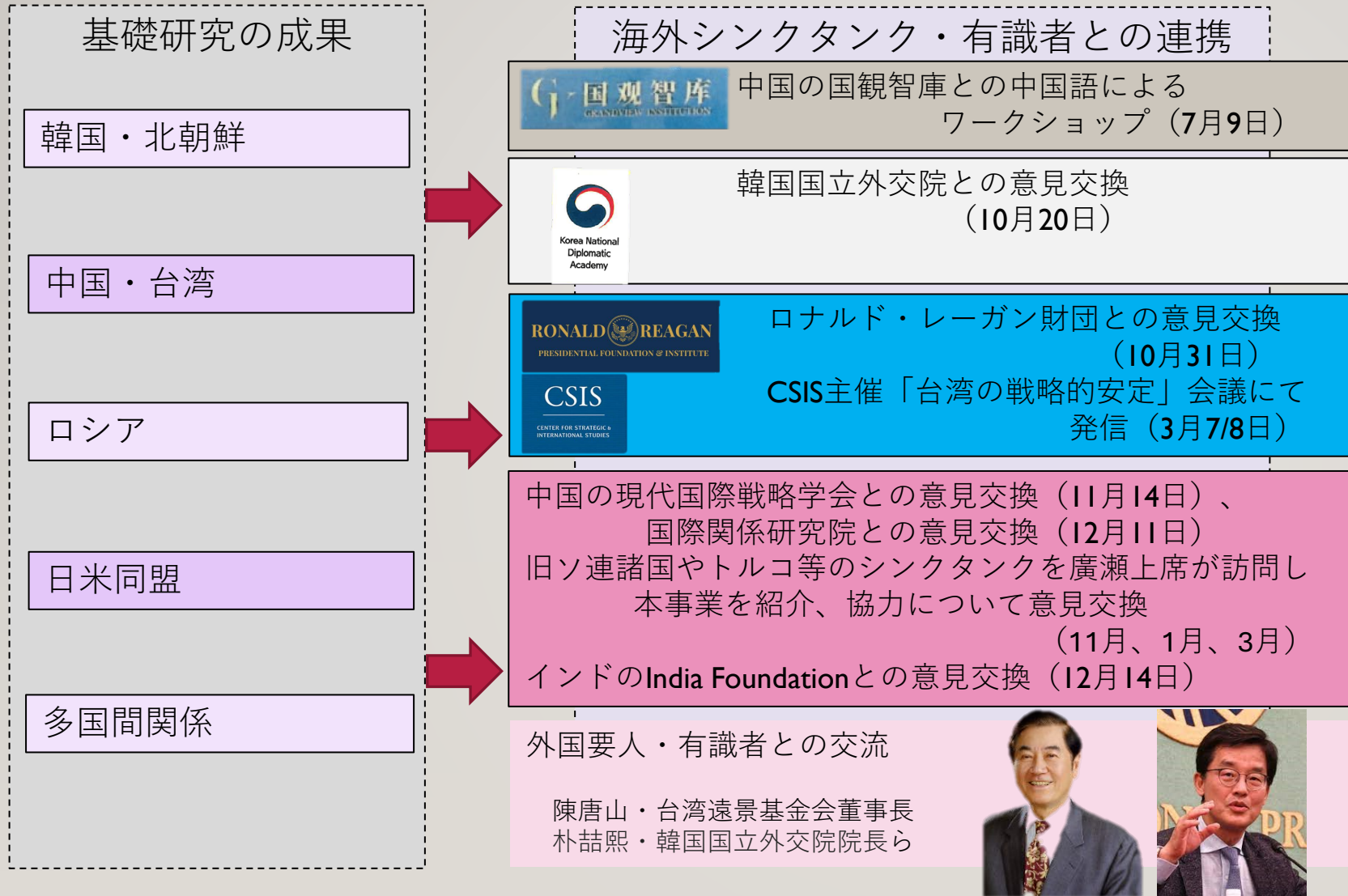
- (女性)江藤名保子：ウェビナー「ウクライナ戦争の波及効果～中央アジアと中国の接近～」登壇（7月20日）
- (若手・女性)福田円：ウェビナー「2024年台湾選挙の行方～台湾政治経済と国際関係の交錯～」（11月7日）

- (若手)ダヴィド・ゴギナシュビリ「アルメニアの「ロシア離れ」政策 南コーカサスにおける地政学的構造の変化の可能性」（9月25日）
- メンバー6名（内女性2名、若手3名）参加による対面シンポジウム（2月22日）

- (若手・女性・地方)寺岡亜由美「アメリカの対中政策をめぐる「超党派の合意」の裏」（同）他
- (若手)加藤智裕「モディ訪米と米印関係をめぐる政策論議」（7月24日）他

- 赤堀地球規模課題審議官との対面での意見交換（11月1日）
- 同地球審の論考HP掲載（2月28日）

3. 基礎研究の成果を用いた海外シンクタンクとの連携強化、対外発信(「東アジア国際問題の内在的考察」)



10年以上の交流実績のある中韓台のシンクタンクとの交流継続

- (1) 第14回東京-ソウルフォーラム (ソウル国際フォーラム、民間)
- (2) 第21回日台対話 (台湾遠景基金会、政府系)

SEOUL FORUM

遠景基金会
The Prospect Foundation



日英ウェブサイト
+ 機関誌Asia Pacific
Review などを通じた
英語での発信